

(お 知 ら せ)



京都市は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。



令和3年3月19日

京都市保健福祉局

〔担当：医療衛生推進室医療衛生企画課〕
〔電話：075-746-7200〕

今年の胸部（結核）検診はお済みですか？

～3月24日は世界結核デーです～

世界結核デーは、細菌学者ロベルト・コッホが結核菌の発見を発表した日にちなんで制定されました。

我が国では、令和元年に14,460人が新たに結核と診断され、京都市においても、年間221人の方が結核と診断されています。

現在、京都市では、下記のとおり結核等の検診を実施しております。結核は早期発見、早期治療で治る病気ですので、年に1回は胸部エックス線検査を受けていただきますよう、御家族や身近な方にも是非お声かけください。

記

1 早期発見の取組（通年実施）

(1) 結核健康相談

医師等による相談や胸部エックス線検査を実施しています。（無料）

※ 定期的に実施しておりますので、各区役所・支所にある健康長寿推進課へお問合せください。

(2) 胸部検診（結核・肺がん検診）

各区役所・支所にて胸部エックス線検査を実施しています。（無料）

※ 定期的に実施しておりますので、各区役所・支所にある健康長寿推進課へお問合せください。

2 結核予防のポイント

(1) 咳が2週間以上続いたら、早めに医療機関に相談し、受診しましょう。

結核の初期症状は、咳（せき）や痰（たん）、発熱などです。風邪や新型コロナウイルス感染症の症状とよく似ていますが、特に高齢者は結核の罹患率が高いため、注意が必要です。これらの症状がある場合は、早めに医療機関に相談し、受診するようにしましょう。

※ 高齢者の場合、食欲がない、体重が減った、なんとなく元気がないなど、はっきりとした症状がない場合もあります。

(2) 定期的に胸部エックス線検査を受けましょう。

健康診断や職場健診、胸部検診を年1回は受診し、早期発見に努めましょう。
特に65歳以上の方は、毎年受診するよう感染症法に定められています。

また、要精密検査になった場合には、放置せず必ず精密検査を受けましょう。

3 京都市の結核の状況（令和元年）

(1) 新登録患者数は前年と比較し、6人減少しました。

新登録患者数 221人（前年227人）

罹患率（人口10万対） 15.1（前年15.5）

(2) 新登録患者数に占める高齢者の割合が高くなっています。

新登録患者のうち65歳以上の方の割合 72.9%（前年74.5%）

80歳以上の方の割合 44.3%（前年46.3%）

(3) 全国と比較して、京都市の罹患率は高くなっています。

年	京都市	全国
令和元年	221人（15.1）	14,460人（11.5）
平成30年	227人（15.5）	15,590人（12.3）
平成29年	235人（16.0）	16,789人（13.3）

（ ）内は罹患率（人口10万に対する新規結核患者の割合）